

谷間の百合 11月

学校法人信栄学園 幼保連携型認定こども園 平幼稚園

2020.10.29

11月の聖句

「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。」

ヨハネによる福音書 15 編 12

園長 平澤 功

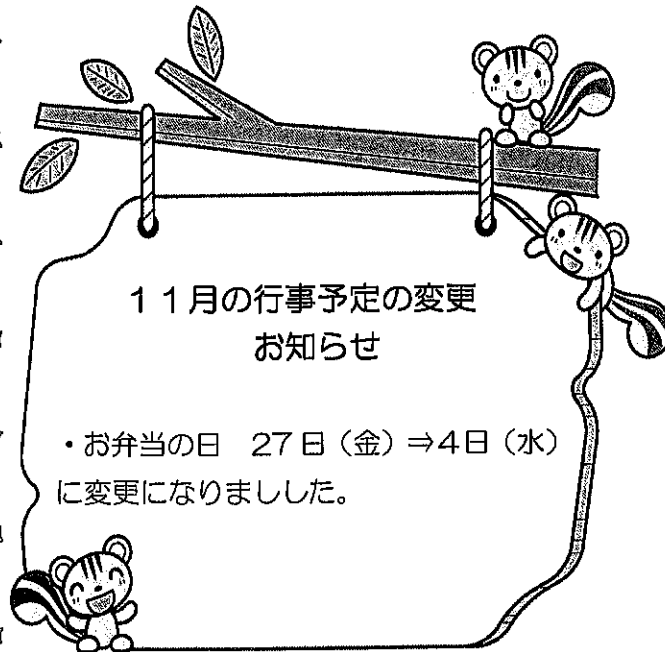
伊豆の修善寺で教会付属の幼稚園園長をしていた時の話です。小学校の先生から、入学時「付属の子は落ち着いて静かに聞く習慣がついていて、助かっています」と言われました。私は毎朝の礼拝での訓練から来ていると思いましたが、友人から「それは神様に愛されていることを知っている、その安心感だよ」と言われ、そのとおりで思いました。子どもたちは生活の中で、悪いことをすれば厳しく叱られますが、赦しも経験して育ちます。その中で愛したり愛されたり、互いに愛し合うことも学びます。幼稚園も家庭も大事な神の愛の訓練の場です。幼児虐待、育児放棄、家庭内暴力のニュースを聞くと胸が痛みます。

聖書の教えです。「女が自分の乳飲み子を忘れるであろうか。母親が自分の産んだ子を憐れまないであろうか。たとえ、女たちが忘れようとも、わたしがあなたを忘れることは決してない。見よ、わたしはあなたを、わたしの手のひらに刻みつける」(イザヤ書 39 章 15 節)。神の愛を母親とお腹を痛めて産んだ子との関係で伝えようとしています。主イエス・キリストは父なる神を「アッパ」と呼ばれます。これは幼児が父親を見ながら、「お父ちゃん」あるいは「パパ」と呼びかける言葉です。子どもはその父親の手に引かれて、安心感、絶対的な信頼感を学びます。子どもたちはそういう父親や母親から愛されているということを実感します。

私が小学生の頃、ある人に母親と写真を撮ってもらう機会がありました。そのとき母が腕を私の腰にまわして私をギュッと引き寄せました。このことがずっと記憶の片隅に残っています。神の愛は無条件の愛です。幼稚園においても家庭でも、子どもたちが神の愛を受け止め、人を愛することのできる教育を心がけたいと思います。

11月の行事予定

- 4日(水) お弁当の日*たね組は給食です。
- 5日(木) 避難訓練
- 6日(金) ムシテックワールド (あい組 9:00)
- 10日(火) 食育(あい組)
おやこ広場
- 11日(水) 英語教室(あい組)
- 13日(金) 日本文化に触れる日
- 17日(火) おやこ広場
- 18日(水) 歯科検診 9:30~
- 20日(金) 収穫感謝礼拝
ひなた訪問(あい組)
- 24日(火) おやこ広場
食育(あい組) 収穫感謝クッキング
- 25日(水) 英語教室(あい組)
- 27日(金) 誕生日祝会
- 30日(月) 第1アドベント



11月の行事予定の変更 お知らせ

・お弁当の日 27日(金)⇒4日(水)
に変更になりました。

わたしは愛されていると感じ 心満たされて今を生き 明日の希望を持つために

2020年度 年主題 **こころが満たされる**

年主題聖句 **喜びと平和とであなたを満たす**

ローマ信徒への手紙 15 章 13 節

＜キリスト教保育・月主題 11月＞

乳児クラス (0.1.2 歳児)
月主題 「ありがとう」

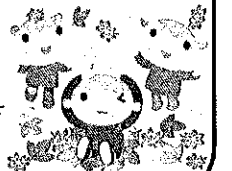
幼児クラス (3.4.5 歳児)
月主題 「感じる」

足元を踊る色とりどりの落ち葉や風の冷たさに晩秋を感じる季節となりました。各クラスの子ども達も近くの公園や園外に出掛け散歩を楽しんでいます。先日、幼児クラスが平成公園に行くので引率をしてきた時のこと。緑から茶色に枯れた雑草をのぞみ組の A ちゃんが抜きはじめました。結構しぶとい?根っこで抜いた後尻もちをつきました。そんな自分に大笑いする A ちゃん。なんだかおもしろくなってきたようで次から次へと雑草抜きにハマりました。その姿をみて R ちゃん、M ちゃん、K ちゃんもおもしろがって、雑草抜きを始めました。「うんとこしょ、どっこいしょ!!」「抜けないなあ」「大きなかぶみたい」「小さい雑草なのに抜いたらすっごい重いよ~!!」と友だちとおしゃべりしながらの雑草抜きがしばらく続いていました。ふと周りを見渡すと、虫探しをする子、木の実を集める子、見えない敵?と戦い続ける子、鬼ごっこをする子... いろいろな姿がありました。その日は、すべり台などの固定遊具にはあまり興味がなかったようです。興味、関心は、その日、その時、その状況によって変わるんですね... 私もまさか雑草抜きが「遊び」に変化するとは思いませんでした。(笑)

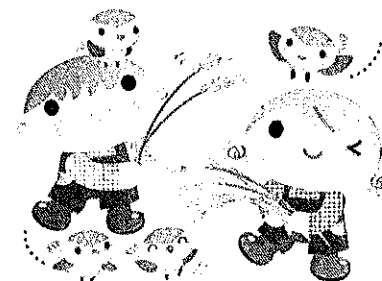
「遊び」は、ドキドキし、ワクワクし、ハラハラし、プンプンし、メソメソし、ニコニコし、ノビノビし、ホノボノし、スヤスヤする。

「遊び」は、気づき、発見し、調べ、探求し、挑戦し、悩み、考え、答えを出し、やってみて、違ってまた考える。

「遊び」は、やりたいことを見つけ、一緒にやりたい人ができて、やりたいだけ満足するまでやる。



子ども達の園外での姿を見ながら、昔若かりし頃、幼稚園教諭になることを夢みていた学生時代に学んだ言葉を思い出し、ほっこり、ほんわかした気持ちになりました。



副園長

高萩恵美

